

## 議員派遣結果報告書

令和5年第3回定例会において議決された議員派遣について、次のとおり実施したので、その結果を報告いたします。

令和5年12月8日

愛南町議会議長 佐々木 史仁 殿

愛南町議会副議長 鷹野 正志

### 記

#### 1 議員派遣の概要

本議員派遣は、令和5年10月19日（木）午後6時00分から愛南町役場大会議室において、議会及び各常任委員会の活動状況を報告し、町内の各団体と意見交換することを目的に、議会報告・意見交換会を実施した。

#### 2 議会報告・意見交換会の詳細

##### (1) 派遣議員

尾崎恵一、嘉喜山茂、池田栄次、吉田茂生、少林法子、石川秀夫  
金繁典子、鷹野正志、原田達也、佐々木史仁、中野光博、山下正敏  
那須芳人、吉村直城 以上14名

##### (2) 参加者

5団体23名

- ① 商工会 青年部 2名、女性部 3名
- ② 愛南地区青年農業者協議会 5名
- ③ 愛南漁業協同組合 青年部 3名、女性部 3名
- ④ 久良漁業協同組合 4名
- ⑤ 地域おこし協力隊 3名

##### (3) 進行

- ① 開会
  - ア 議長あいさつ
  - イ 議員紹介
- ② 議会の活動状況報告
- ③ 意見交換 テーマ「暮らしやすい町づくり」

参加者を4班に班編成（議員は1班に3名）し、意見交換を行う。

- ア 班内で自己紹介
  - イ 役割分担（班ごとに進行、記録、発表者を決める。）
  - ウ 意見交換
  - エ 意見とりまとめ
  - オ 発表準備
- ④ 意見発表（4班×5分）
- ア 各班が取りまとめた意見を発表する。
  - イ 議長終わりのあいさつ
- ⑤ 閉会

#### （4）議会の活動状況報告（議長からの報告）要旨

第1回定例会において、議員発議で「愛南町議会会議規則」の一部を改正し、一般質問における回数制限を撤廃して、次の第2回定例会から「一問一答方式」を導入することとした。

第2回定例会においては、議会活性化特別委員会が、「議会報告会」の開催方法として、団体や地域住民を対象とした「意見交換会」にしてはどうかとの報告をした。これにより、今回の意見交換会の開催に至った。

第3回定例会においては、総務文教常任委員会が、「空き家の利活用の調査研究」について、空き家の利活用を移住定住対策の面から考えた場合、魅力ある水産業、農業のPR、移住者を地元で支える体制づくり、空き家情報の共有等が必要であり、部局横断的な体制整備が必要との調査結果報告を行った。また、愛南町がB&G財団の「先進的海洋センター整備事業」に応募することについて、「事業の目的や内容が不明で、将来のコスト計算も提示されておらず、説明責任が果たされていない」などの理由で、2名の議員から関連経費を削除する補正予算の修正動議が提出されたが「否決」された。家串小学校と柏小学校の統廃合に関する保護者等の合意形成の経緯や再編後の校舎となる内海中学校の改修費について検証するため、議員発議により「内海中学校の利活用に関する特別委員会設置に関する決議」が提出され、賛成多数で「可決」された。

その他、「議会だより発行準備特別委員会」を設置し、編集方針等を検討するなど「議会だより」発行の準備をしていること、「町長選挙と議会議員選挙を同時選挙」とすることについて、議員全員協議会を開催して議論をしていること等を報告した。

### 3 まとめ（報告）

4班に分かれて意見交換を行った結果は次のとおりである。

#### （1班）

##### 1 構成

商工会青年部 2名、商工会婦人部 3名、地域おこし協力隊 山本梓沙  
議員3名 吉田茂生、石川秀夫、吉村直城

## 2 役割分担

進行 石川議員、記録 吉田議員、発表者 商工会青年部

## 3 意見交換

### (1) 現状把握・課題抽出

- ① 働く場所が少なく、若者が戻ってこない。
- ② 宿泊できる場所がなく、観光客が減少している。
- ③ 医療体制が整っていない（出産できる病院がないこと。）。
- ④ 高齢化率
- ⑤ 役場と民間の距離がある。

### (2) 課題に対する方策の検討・解決策

- ① 一次産業のイメージアップを図り、若者が働きたいと思う環境を整備する。魅力を持ってもらえる町づくりを行う。大手企業の誘致 等
- ② 廃校になっている施設を利用し、宿泊施設を作る。自然を生かした観光及びキャンプ場の整備。

## 4 発表

- ① 様々な問題がある中で、若者を定着させる為に働く場所を確保（一次産業のイメージアップや企業誘致等）すること。
- ② 滞在型宿泊施設の誘致や、廃校となった校舎を利用した宿泊施設を作る等して、観光に特化した町づくりを目指す。

## (2班)

### 1 構成

愛南地区青年農業者協議会 5名、地域おこし協力隊 関根麻里  
議員3名 池田栄次、金繁典子、原田達也

### 2 役割分担

進行 金繁議員、記録 池田議員、発表者 愛南地区青年農業者協議会

### 3 意見交換・発表

#### (1) 現状把握・課題抽出

- ① 耕作放棄地
- ② DX農業の推進について
- ③ アルバイター不在、後継者不足

#### (2) 課題に対する方策の検討・解決策

- ① 農地の借地を農業委員会から農業バンクへ 農地バンク整備（基盤）して借出
- ② ドローンの操縦資格取得及び購入に助成を。スマート農業施設の導入に対しての補助の充実。園地の3Dモデル化を活用して、園内道等を設計するためのソフトに関する助成及び支援。農業DXのソフトの支援。

青年農業者協議会への活動支援。南宇和高校との交流・連携。県と町との三者協議の実施。

- ③ 宿泊施設等コーディネート。アルバイトの交通費の助成。八幡浜市等の先進地との連携。新規就農者補助金の支給期間を3年から5年へ。肥料等の支援を手厚く。燃料代の高騰の助成を。

(3班)

1 構成

愛南漁協青年部 3名、愛南漁協婦人部 3名  
議員3名 尾崎恵一、少林法子、山下正敏

2 役割分担

進行 尾崎議員、記録 少林議員、発表 愛南漁協青年部

3 意見交換

(1) 現状把握・課題抽出

女性部 海産物、特にタイを中心に食品開発、イベントで料理

青年部 海洋ごみ回収(養殖環境整備)、先進地視察、新魚種養殖の研究、ぎょしょく教育、イベントの参加、販路拡大

(2) 課題に対する方策の検討・解決策

- ① ぎょしょく教育 親子共同参加型のぎょしょく教育の機会が欲しい。

街中の学校、規模の大きな学校、海から遠い学校の子供も、養殖産業への体験型学習を継続的にできるようにして欲しい。

- ② 養殖業について 機械化、ICT化だけではだめで、物づくりは人づくりなので、目的を持ち課題解決していこうと皆が考える仕事場が大切。

4 発表

- ① おいしいだけでは輸出は無理。国際認証をとる企業を増やし、愛南町全体のレベルアップを図りたい。

- ② 町独自のブランディングが必要。開発は漁協がリードする。

- ③ 生産するだけでなく、流通段階の改革も含めた販路開拓が必要。

(4班)

1 構成

久良漁協 4名、地域おこし協力隊 柳田亮介  
議員3名 嘉喜山茂、中野光博、那須芳人

2 役割分担 進行 那須議員、記録 嘉喜山議員、発表 中野議員

3 意見交換

(1) 現状把握・課題抽出

人手不足、経費高騰、加工業の必要性、漁業者はどこで遊ぶ、恋愛結婚観、養殖魚出荷可能量、が挙がり、この中から人手不足、経費高騰について検討することになった。

(2) 課題に対する方策の検討・解決策

① 人手不足

外国人活用（業務の一部単純作業しか任せられない）、外部人材活用（ルートが少ない） 農業的共同経営（スケールメリットを活かす）

② 経費高騰

餌、燃油、組合以外にも取引先あり、個人でそれぞれ違っている。

ウクライナ情勢など地政学リスク、円安、稚魚の採取にも影響、2024年問題

4 発表

(1) 人手不足 少子高齢化の影響、雇用環境の悪化、福利厚生

(2) 経費高騰 小規模事業者が多くスケールメリットが得にくい。地政学リスクなど外部要因が大きい。餌代高騰はエルニーニョ影響や円安が要因。

なお、意見交換会で出された意見については、議員全員協議会で情報共有し、その取扱いについて協議する。

以上、報告とする。